

保護者様

なのはなガーデン

なのはなガーデンでは、静岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例に基づき、2024年度の自己評価と保護者評価を行いましたので下記の通りご報告いたします。

2024年度 自己・保護者評価報告書

1 なのはなガーデンの重点目標

- 子ども像
 - *自分を大切にし、仲間とともに成長する子ども（自己肯定感と他者を認める心）
 - *まわりのものに深い関心を寄せ、感動できる子ども
 - *じょうぶな体をもつ子ども
 - *自分の発見や考えを豊かに表現できる子ども
- 保育目標
 - *一緒に生活する大人や子どもが好きになり、一緒に遊ぶ楽しさ、面白さを育てる
 - *生活やあそびに意欲的に取り組み、体と心の主人公になる力を育てる

2 評価項目の及び取組状況 (A=よくできた B=ふつう C=できなかった)

(1) 保育について

評価項目	取組状況	自己評価
① 乳児理解を深めるための自己学習について	毎日の保育での疑問・意見等はスタッフ間で共有・話し合いができる関係性があり、スタッフの思いを保育・運営に反映してきた	A
② 実践力アップのため学びについて	毎月のちよこっと会議(事例学習)や自己・法人研修で子ども理解を深めてきた	A
③ 保護者理解の学びについて	毎日のノート、お迎えや保育参加・交流会時に保護者と子どもの様子を率直に話し合う中で思いを知り、スタッフと共有してきた	A
④ 保幼小の連携を見通した保育カリキュラムの確認・充実について	保育の振り返りやスタッフ同士の学習・研修報告等を通じて、情報を集め保育に生かしてきた	A
⑤ 法人の「子どもの最善の利益」を目指す保育や運営に関しての考え方や提案について	「子どもの最善の利益」を目指す、同じ思いの法人スタッフとの研修をさらに重ねる機会を設け、保育体制を確保しながら、安心・楽しい保育を創っていきたい	A
⑥ 保育の中に現れる社会の課題に関する関心や学びについて	子ども達を取り巻く社会状況にも日々興味を抱き学び続け、未来を担う子ども達に今できること等も話合っている	A

(2) 運営

評価項目	取組状況	自己評価
① スタッフの働く条件の改善・向上について	スタッフとの話し合いの中で、改善点すべきは努力し、向上してきた	A
② 「子どもの最善の利益」を目指し、保育環境の改善・充実について	保育環境(教材、おもちゃ、備品等)は、その度必要なものを配置した	A

2024年度「なのはなガーデンに関するアンケート」の報告

実施した標記のアンケート結果について下記のようにご報告いたします。今後の保育活動の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

< 配布枚数18 回収枚数15 回収率83% >

	はい	どちらでもない	いいえ	回答なし
ア お子さんは保育園に通うのを楽しみにしていますか	11人 (73%)	2人 (13%)	0人 (0%)	2人 (13%)
イ お子さんが「成長したなあ」と感じことがありますか	14人 (93%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人
ウ お子さんは基本的な生活習慣が身に付いたと思いますか	14人 (98%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人
エ 保育園や職員に子育ての悩みや疑問を相談しやすいですか	14人 (98%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人
オ 連絡帳、おたより、懇談会、相談などを通して保育やお子さんの園生活は分かりやすいですか	14人 (93%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人

3 今後取り組むべき課題

アについて	子ども一人ひとりの状況をつかみ、課題をみつけ、楽しく登園できるように家庭との連絡を密にするとともに、子どもが毎日楽しいと思う保育を創っていくよう、引き続きカリキュラムの見返しもしていくたい。
イ、ウ、エ、オについて	子どもの今の「ありのまま」をつかみ、共感しながら保育を創る中で、親との信頼関係をより深め、子育てのパートナーとして、悩みや疑問を相談しやすい体制作りを更に心がけていく

子どもの取り巻く状況が厳しくなる中、親も子育てを通して親になる喜びを感じることが難しい時代となっています。園では子どもと親の理解を深め、より専門的な保育の知識や方法が必要となっています。親理解・親支援があつて、子どもの育つ環境が豊かになることを考え、来年度もなのはなガーデンで大切にしてきた実践の中核を確認しつつ、「実践を科学する」視点で理論と実践を深め、保育の質を高めていきます。そして、「子どもの最善の利益」の追求のもと、保護者と子どもを真ん中にパートナーとなり、保育実践を進めていきます。